平成23年度教育委員会所管に係る当初予算案の概要

平成23年2月16日
企画管理部財務施設課
電　話　043-223-4158

1　一般会計

予算額　　4，157億1，414万円（前年度比　1．2%減）

（1）性質別内訳

（単位：千円）

区　分	平成23年度		平成22年度		増減額	伸率%
	当初①	構成比%	当初②	構成比%	①－②＝③	③／②
人件費	396,334,509	95.3	399,214,457	94.9	△ 2,879,948	△ 0.7
投資的経費	5,753,131	1.4	7,776,813	1.8	△ 2,023,682	△ 26.0
物件費	7,561,743	1.8	7,483,243	1.8	78,500	1.0
その他の経費	6,064,757	1.5	6,241,954	1.5	△ 177,197	△ 2.8
合　計	415,714,140	100.0	420,716,467	100.0	△ 5,002,327	△ 1.2

（2）項別内訳

（単位：千円）

区　分	平成23年度		平成22年度		増減額	伸率%
	当初①	構成比%	当初②	構成比%	①－②＝③	③／②
1項 教育総務費	57,611,233	13.9	58,041,364	13.8	△ 430,131	△ 0.7
2項 小学校費	155,212,610	37.3	156,786,395	37.3	△ 1,573,785	△ 1.0
3項 中学校費	88,830,970	21.4	89,477,211	21.3	△ 646,241	△ 0.7
4項 高等学校費	78,327,288	18.8	78,249,898	18.6	77,390	0.1
5項 特別支援学校費	31,102,004	7.5	30,373,616	7.2	728,388	2.4
6項 社会教育費	2,474,424	0.6	2,758,341	0.6	△ 283,917	△ 10.3
7項 保健体育費	2,155,611	0.5	5,029,642	1.2	△ 2,874,031	△ 57.1
合　計	415,714,140	100.0	420,716,467	100.0	△ 5,002,327	△ 1.2

（3）財源内訳

（単位：千円）

区　分		平成23年度		平成22年度		増減額	伸率%
		当初①	構成比%	当初②	構成比%	①－②＝③	③／②
特定財源	分担金負担金	156,644	0.0	157,804	0.0	△ 1,160	△ 0.7
	使用料手数料	519,274	0.1	528,739	0.1	△ 9,465	△ 1.8
	国庫支出金	78,901,704	19.0	81,644,326	19.4	△ 2,742,622	△ 3.4
	財産収入	192,869	0.1	153,268	0.0	39,601	25.8
	繰入金	456,121	0.1	210,133	0.1	245,988	117.1
	諸収入	583,095	0.1	652,096	0.2	△ 69,001	△ 10.6
	県債	2,639,400	0.6	21,178,700	5.0	△ 18,539,300	△ 87.5
一般財源		332,265,033	80.0	316,191,401	75.2	16,073,632	5.1
合　計		415,714,140	100.0	420,716,467	100.0	△ 5,002,327	△ 1.2

３　主要事業（一般会計）

〈1　過去と未来をつなぎ世界へはばたく人材を育てる～夢・チャレンジプロジェクト～〉

① ちばっ子「学力向上」総合プラン

・教師力トップチャレンジプラン　　４，０１７千円

若手教員等の指導力向上のため、若手教員育成推進員を配置して、地域に根ざした研修会の実施や、魅力的な授業を実践している教員の効果的な活用などにより、指導技術の継承や教員育成の体制づくりを推進します。

・子どもたちの夢・チャレンジサポートプラン　　１４，９３３千円（H22：３，７００千円）

児童生徒の学力向上を図るため、中学校で活用できる「ちばのやる気ガイド」の1・2年生分の作成や、評価問題を配信するとともに、小学校で活用する学びのつまずき克服のための「学びの突破口ガイド」を作成します。

・確かな学びの礎（いしずえ）プラン　　２２０千円

児童生徒の思考力・表現力のさらなる向上を図るため、学習の基盤となる読書指導の指針の検討、ホームページを利用した家庭学習の大切さの啓発により、読書活動の充実と家庭学習環境づくりを推進します。

・興味ワクワク体験学習推進プラン　　２０，５３２千円（H22：２０，２６６千円）

児童生徒の学習意欲の向上を図るため、優れた知識・技能を持つ外部人材の特別講師としての活用や、小・中・高連携の特別授業による体験学習等を推進します。

・学力向上検証プラン　　１，０６８千円（H22：２６０千円）

児童生徒の学力向上を図るため、優れた指導技術を共有するための交流会を開催し、校種間の連携を強化して、授業改善や教員の指導力向上を図ります。

② ちば文化発信プロジェクト事業【新規】　　３４，４００千円

県民が「ちば文化」に関心を持ち、県民である誇りや千葉への愛着心を育むため、県立美術館等での企画展の開催など、千葉の文化的な魅力を発信し、「ちば文化」に触れる環境づくりを行います。

〈2　ちばのポテンシャル（潜在能力）を生かした教育立県の土台づくり
～元気プロジェクト～〉

①　読書県「ちば」の推進

・子どもの読書活動推進事業　　1，700千円（H22：1，224千円）

家庭での読書活動の意義、大切さを啓発するため、子どもの発達段階に応じた保護者向けリーフレッの作成や子どもの読書活動啓の集い等を開催します。

②　道徳教育推進プロジェクト事業　　35，000千円（H22：2，000千円）

小・中・高等学校の児童・生徒の発達段階に応じた千葉県らしい道徳教育の推進を図るため、文部科学省の「道徳教育総合支援事業」を活用し、小学校の低・中・高学年別の道徳教育の映像教材の作成を行います。

③　競技力向上推進本部事業　　200，000千円（H22：250，000千円）

「ゆめ半島千葉国体」の成果を活かし、ジュニア選手の育成・強化を図るなど、本県競技力の恒常的なレベルアップとスポーツを通じた活力ある地域づくりを推進します。

④　ちばアクアラインマラソン（仮称）開催事業【新規】　　45，000千円

県民の健康増進や体力向上の促進及び千葉県の魅力発信を目的とした「ちばアクアラインマラソン（仮称）」の平成24年秋の開催に向け、交通渋滞予測や広報活動などを行います。

⑤　特別支援学校分校・分教室整備事業　　151，077千円（H22：101，768千円）

特別支援学校の児童生徒の増加に伴う過密化に対応するため、高等学校の施設等を活用し、特別支援学校の分校・分教室等を整備します。

⑥　県立学校耐震化推進事業　　2，480，000千円（H22：2，083，000千円）

県立学校の校舎・屋内運動場等で、耐震診断の結果、補強を要すると判定された建物について、緊急度の高いものから、計画的に耐震化工事を実施します。

⑦　県立学校大規模改修事業　　324，000千円

経年劣化の著しい外壁・トイレの改修及び県立高校へのバリアフリー化を推進するため、エレベーターの設置を計画的に行います。

⑧ いきいきちばっ子食育推進事業　　3，740千円（H22：540千円）

学校における児童生徒の食育を推進するため、農業・水産系高等学校で、幼・小・中学校等の児童生徒を対象とした体験型食育活動や発達段階に応じた食育指導のあり方研究などを行います。

⑨ キャリア教育推進事業　　6，800千円（H22：5，040千円）

子どもたちが勤労観・職業観を身に付け、社会で自立していけるようにするため、県内の研究機関や企業と連携して、最先端の技術に触れる機会などを提供する体験スクールを実施するとともに、小中高の体系的なキャリア教育を推進するための手引きの作成などを行います。

⑩ 特別支援教育アドバイザー事業　　56，300千円（H22：55，368千円）

各教育事務所に特別支援アドバイザーを配置し、公立の幼稚園、小中学校や高等学校からの要請に応じて派遣し、障害を持つ幼児・児童・生徒の指導・支援のあり方等について、教職員や市町村の特別支援教育支援員等に対する助言・援助を行います。

⑪ ちばっ子安全・安心推進事業　　3，000千円（H22：3，500千円）

学校における防犯教育を推進するため、フィールドワークを中心とした学習過程である「地域安全マップ」づくりを推進するとともに、地域と連携した防災教育に取り組みます。

⑫ 放課後子ども教室推進事業　　63，300千円（H22：64，000千円）

子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参加を得て、勉強・スポーツや地域住民との交流活動等を実施する市町村に対し助成します。

＜3　教育の原点としての家庭の力を高め、人づくりのために力をつなげる　～チームスピリットプロジェクト～＞

① 家庭教育支援事業　　3，300千円（H22：2，270千円）

教育の原点である家庭教育力を高めるため、企業内研修の場を利用した支援講座や市町村関係者の資質向上のための研修の実施、家庭教育に関する情報のインターネット配信や広報などにより、家庭教育支援体制の強化及び家庭教育の充実を図ります。

② スクールカウンセラー等配置事業　　444，500千円（H22：414，000千円）

いじめ、不登校、暴力行為などの早期発見・早期解決を図るため、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置し、相談対応や福祉等との連携を図ります。

〈4　その他〉

① 教職員人件費　　392，220，370千円　（H22：395，200，604千円）

平成22年9月1日現在の学校職員及び教育庁職員の現員職員数により、給与・職員手当等の年間所要見込額を計上します。

② 教職員定数

総定数　41，261人　（H22：41，066人）

内訳　H23　小：19，428人　中：10，450人　高：7，843人　特支：3，540人

H22　小：19，324人　中：10，337人　高：7，908人　特支：3，497人